

総務文教委員会 主な審査内容



常任委員会は「総務文教」と「生活環境」の2つがあって、議員の名がそれぞれ専門的に議案を審査するんですよ。

定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の制定について

Q 募集の対象が45歳以上とあり、働き盛りの有能な人材が退職する懸念について問う。

A 今回、導入しようとしている早期退職募集制度は、定年延長により、職員の年齢層が上振れすることから、将来的な職員の年齢構成をできるだけ平準化する「一つの方法」として導入しようとするものである。この制度を利用して退職した場合、退職手当が一定程度、割り増しされるが、それを理由に、大勢の職員が、次々に早期退職し、その結果、組織が成り立たなくなるといふことは、想定していない。実際のところ、職員一人一人、様々な事情があり、思いを持っている。この制度が導入されることによって、いろいろな考ええる職員もでてくると思う。ただ、この制度の側面として、早期退職することによって、その人の人生が、より良いものになるのであれば、それを後押しできる制度であるとも言える。

Q 早期退職募集制度の募集人数、職員の範囲の選考基準について問う。

A 人数や、職員の範囲を設定する際には、どの年齢層が適当なのか、また、職種や職位も含めて考えるの

か、といったことを検討したうえで、募集人数や、その範囲を設定することになると考える。早期退職者を、漫然と募集した結果、特定の年齢層や職種、あるいは職位にある職員の人数が、極めて少なくなってしまうということでは、組織運営上、支障が生じる恐れがある。まず、組織として十分に機能できるという状態を想定したうえで、将来的に、職員の年齢構成の平準化につながっていくのか、という視点をもつて基準を考えていく必要がある。

財産の無償譲渡について

へ地域情報通信基盤（光ファイバケーブル）設備一式

Q インターネットやIP電話等のサービス加入状況は、令和6年3月末で栗谷地区が約90%、阿多田地区が約50%であるが、譲渡後の運用について問う。

A 無償譲渡の相手方である株式会社ちゅピコムとしては、ケーブルテレビ事業者の使命として、今後も事業収入が少なくない中山間地域や阿多田地区で、事業縮小をすることは考えていないと聞いている。

Q 地域情報通信基盤は、設置してからかなりの年数が経過しているが、令和元年度から5年間の平均の維持費について、また、無償譲渡後の市の

財政的な負担について問う。

A 修繕費や維持費については、大竹市が所有者として請求を受けて、一旦支払いをして、年度末に株式会社ちゅピコムに請求するものと、工事費など株式会社ちゅピコムが直接負担する2種類がある。まず、本市が一旦支払うものについては、電気代や地権者への支払、海底ケーブルなどの使用料があり、年間の平均で約1100万円になる。次に、株式会社ちゅピコムが直接負担するものについては、光ケーブルや設備の維持管理や工事費などがあり、年間の平均で約680万円になる。これらは、契約によって現在も株式会社ちゅピコムが負担しているため、譲渡後に増減はないと思われる。また、今後の負担についても、譲渡後は基本的に大竹市の支出に関してはゼロという試算である。

令和6年度大竹市一般会計

補正予算（第5号）について

Q 介護・福祉人材確保事業の初任者研修委託料の委託先及び研修の計画について問う。

A 委託先については、介護や福祉の資格を取得するための講習を行っている事業者に対して委託する予定である。具体的には、大竹市に委託先の講師に来ていただき、週1回の開催

で、合計で14日間、約3ヶ月の研修を行う予定である。研修後は、委託先に就労相談を行っていただくことを考えている。

Q 介護保険緊急支援事業の内容について問う。

A 介護保険緊急支援事業は、今回閉鎖されるデイサービスの利用者その他のデイサービスを利用するのに、距離的、時間的、人材不足などで事業者の送迎が難しい場合に、送迎費用の支援を行う事業である。具体的には、デイサービスを利用するのにタクシーなどを活用した場合、その送迎の費用を市が支援するものである。

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決

本会議へ

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

生活環境委員会 主な審査内容

財産の取得について（こいこいバス）

Q 新車両に装備される衝突防止補助システムについて、運行中のバスの前に障害物が現れ、システムが急にブレーキをかけた場合、立って乗車している者が怪我をするという危険性はないのか問う。

A 乗用車では衝突被害軽減ブレーキ、いわゆる自動ブレーキアシスト機能が付いたものがあるが、立席のある路線バス等では、自動ブレーキ等の作動に伴い、車内での転倒事故に繋がる恐れがあるという理由から、自動ブレーキの設定がない。今回整備する衝突防止補助システムは、運転手に危険を知らせる運転支援装置であり、ブレーキの対応は運転手が行うこととなる。

令和6年度大竹市介護保険特別

会計補正予算（第2号）

Q 介護予防教室は、どこで、いつまで開催されるのか。また、従来のデイサービスと同じ頻度で利用できるのか問う。

A 介護予防教室は閉鎖される事業所を利用しての方のほか、要介護認定で要支援1、要支援2及びチェックリストで総合事業の対象と認定された方を対象とし、デイサービスの代わりとして開催する予定である。そ

のため、利用回数は地域包括支援センターの職員が作成するケアプランに基づくこととなるが、事業を委託する実施者や実施する場所によって、変わることも考えられる。

なお、総合事業を行う事業所の増加や、他の新たな教室が実施されることになれば、介護予防教室を終了する予定である。

令和6年度大竹市水道事業会計

補正予算（第1号）について

Q 債務負担行為を1億1500万円増額する補正予算を計上しているが、内容は人件費の増額だと考えてよいのか問う。

A 一番の大きな要因として、人件費の高騰を考慮したためであるが、その他の要因として、高騰している電力費の今後の動向を考慮していること。他に、防鹿水源地の電気機械の計器の修繕を受託者において対応できるように増額している。

工事請負契約の締結について

（大竹駅西口交流広場整備工事）

Q 大竹駅西口交流広場は今後、イベント等を行う広場になると考えている。キッチンカー等の使用が想定されるが、その際に使用可能な電源設置の予定について問う。

A 大竹駅西口交流広場には街灯を設置する予定であり、その街灯のうち5箇所コンセントを設置する予定である。



大竹駅整備工事中の西口交流広場

工事請負契約の締結について（晴海臨海公園西側駐車場等整備工事）

Q 今回の整備ではインクルーシブ遊具は含まれないか問う。

A この度の整備ではインクルーシブ遊具は含まれないが、インクルーシブについては、昨年度からの課題であり、現在の遊具広場に新たにお絵かき広場を設置したいと考えている。設置する予定のお絵かき広場については、各種団体に問いかけをしているところであり、意見を集約したうえで今年度中に設置したいと考えている。

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第5回定例会は、令和6年11月28日～12月13日の16日間行われました。

詳細については、令和7年3月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

